

一般貸切旅客自動車運送事業 法令試験問題

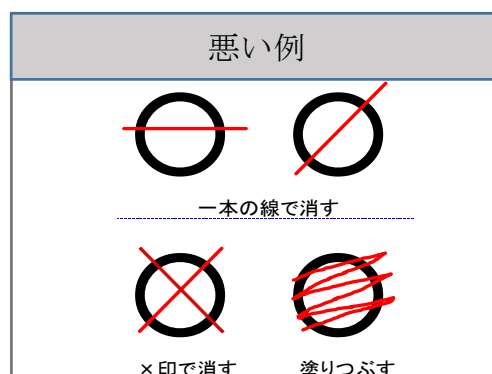
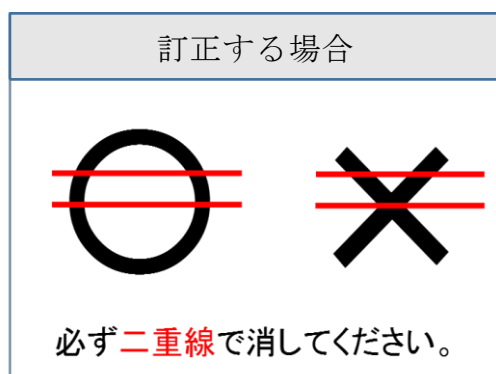
試験実施日 令和8年3月18日

事業者名 _____

受験者名 _____

【注意事項】

1. 試験時間は、45分間です。
2. 解答はボールペンで記載して下さい。
3. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないで下さい。
4. 問題用紙は、表紙を含めて5枚です。
5. 問題用紙は、持ち帰らないで下さい。
6. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格となります。



中部運輸局

事務処理欄		
		/ 30

問1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を
() 内に記入して下さい。

- 1 旅客自動車運送事業者は、旅客又は公衆に対して、公平かつ懇切な取扱いをしなければならない。 ()
- 2 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の利便を著しく阻害するおそれがあるときは、事業用自動車に車掌を乗務させなければこれを旅客の運送の用に供してはならない。ただし、天災その他やむを得ない理由のある場合はこの限りではない。 ()
- 3 国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業者について旅客の利便を阻害している事実が認められた場合に限り、事業改善を命ずることができる。 ()
- 4 乗車定員十一人以上の自動車の使用者は、自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検整備並びに自動車の車庫を管理に関する事項を処理させるため整備管理者を選任しなければならない。 ()
- 5 一般貸切旅客自動車運送事業者は、認可を受けた運賃の範囲で運賃を定め、あらかじめその旨を国土交通大臣に届け出なければならない。 ()
- 6 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者等に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者等に携行させなければならない。また、運行指示書を運行の終了の日から三年間保存しなければならない。 ()
- 7 国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が一年以上の拘禁刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から二年を経過している者であるとき、許可をすることができる。 ()
- 8 旅客自動車運送事業者は毎事業年度の経過後百日以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報を公表しなければならない。なお、その内容を国土交通大臣に報告する義務はない。 ()

- 9 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、事故の概要について記録するとともに、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において三年間保存しなければならない。
()
- 10 一般旅客自動車運送事業者は、その事業を休止し、又は廃止したときは、遅滞なくその旨を営業所その他の事業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。
()
- 11 一般旅客自動車運送事業者は事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。ただし、天災その他やむを得ない事由がある場合はこの限りではない。
()
- 12 一般旅客自動車運送事業者（一般乗用旅客自動車運送事業者を除く。）は、運賃及び料金並びに運送約款を営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。
()
- 13 旅客自動車運送事業者は前年4月1日から3月31日までの期間に係る事業報告書を提出しなければならない。
()
- 14 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送を引き受けた場合には、当該運送の申込者の任意により、運送引受書を交付することができる。
()
- 15 一般貸切旅客自動車運送事業者は、営業所ごとの配置車両が十両を超えた場合のみ、安全統括管理者を選任しなければならない。
()

問2 次の設問の（ ）に、法及び規則並びに告示等の文に照らし、正しい語句を記載して下さい。

- 16 自動車運送事業の用に供する自動車は（ ）ごとに定期点検整備をしなければならない。

17 国土交通大臣は、国土交通省令で定めるところにより、旅客自動車運送に関する秩序の確立に資することを目的とする一般社団法人又は一般財団法人であって、事業を適正かつ確実に行うことができると認められるものを国土交通大臣が定める区域ごとに、かつ、旅客自動車運送事業の種別ごとに、
() として指定することができる。

18 旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の連続運転時間は () を超えないものとする。

19 一般旅客自動車運送事業の運送約款に定める事項として、法令で規定されている事項を1つ正確に記入せよ。
()

20 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、省令に掲げる業務の的確な実行及び () の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

問3 以下の各設問の () 内に、正しい語句を [] 枠内から選択し、記入して下さい。

21 1日についての拘束時間は、() を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は、15時間とすること。
[A：12時間 B：13時間 C：14時間]

22 一般貸切旅客自動車運送事業は、アルコール検知器を用いて運転者の酒気帯びの有無について確認を行うときは、当該確認に係る呼気の検査を行っている状況の写真(当該運転者を識別できるものに限る。)を撮影して電磁的方法により記録媒体に記録し、かつ、その記録を() 保存しなければならない。ただし、当該状況を録画する場合はこの限りでない。
[A：60日間 B：90日間 C：120日間]

23 一般旅客自動車運送事業を営もうとする者は、国土交通大臣の() を受けなければならない。
[A. 承認 B. 許可 C. 免許]

24 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を() しなければならない。
[A. 常に清潔に保持 B. 可能な限り清潔に C. 運行ごとに清掃]

- 25 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、運行の安全面ポイントを分かりやすく示すことにより、単純な（ ）比較のみで選ぶのではなく、より安全にも留意した選定を促すこと目的としている。
[A：サービス B：価格 C：車両]
- 26 一般旅客自動車運送事業者は、（ ）により、旅客の運送をしなければならない。
[A：乗り込んだ順序 B：運送の申込みを受けた順序 C：運賃等を支払った順序]
- 27 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を（ ）結果を生ずるような競争をしてはならない。
[A. 阻害する B. 助長する C. 確保する]
- 28 旅客自動車運送事業者は、（ ）以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。
[A. 2ヶ月 B. 6ヶ月 C. 1年]
- 29 旅客自動車運送事業者たる法人の代表権を有しない役員の変更にあつては、前年7月1日から6月30日までの期間に係る変更について、毎年（ ）までに届け出るものとする。
[A. 3月31日 B. 5月31日 C. 7月31日]
- 30 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者は、事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、（ ）に対し適切な防護措置をとらなければならない。
[A. 旅客 B. 列車 C. バス]

一般貸切旅客自動車運送事業 法令試験問題（回答）

問1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）内に記入して下さい。

- 1 旅客自動車運送事業者は、旅客又は公衆に対して、公平かつ懇切な取扱いをしなければならない。

(○)

[旅客自動車運送事業運輸規則第2条]

- 2 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の利便を著しく阻害するおそれがあるときは、事業用自動車に車掌を乗務させなければこれを旅客の運送の用に供してはならない。ただし、天災その他やむを得ない理由のある場合はこの限りではない。

(○)

[旅客自動車運送事業運輸規則第15条]

- 3 国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業者について旅客の利便を阻害している事実が認められた場合に限り、事業改善を命ずることができる。

(×)

[道路運送法第31条]

- 4 乗車定員十一人以上の自動車の使用者は、自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検整備並びに自動車の車庫を管理に関する事項を処理させるため整備管理者を選任しなければならない。

(○)

[道路運送車両法第50条]

[道路運送車両法施行規則第31条の3]

- 5 一般貸切旅客自動車運送事業者は、認可を受けた運賃の範囲で運賃を定め、あらかじめその旨を国土交通大臣に届け出なければならない。

(×)

[道路運送法第9条の2]

- 6 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者等に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者等に携行させなければならない。また、運行指示書を運行の終了の日から三年間保存しなければならない。

(○)

[旅客自動車運送事業運輸規則第28条の2]

- 7 国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が一年以上の拘禁刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から二年を経過している者であるとき、許可をすることができる。

(×)

[道路運送法第7条]

- 8 旅客自動車運送事業者は毎事業年度の経過後百日以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報を公表しなければならない。なお、その内容を国土交通大臣に報告する義務はない。

(×)

[旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7]

- 9 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、事故の概要について記録するとともに、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において三年間保存しなければならない。

(○)

[旅客自動車運送事業運輸規則第26条の2]

- 10 一般旅客自動車運送事業者は、その事業を休止し、又は廃止したときは、遅滞なくその旨を営業所その他の事業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

(×)

[道路運送法第38条]

- 11 一般旅客自動車運送事業者は事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。ただし、天災その他やむを得ない事由がある場合はこの限りではない。

(○)

[道路運送法第16条]

- 12 一般旅客自動車運送事業者（一般乗用旅客自動車運送事業者を除く。）は、運賃及び料金並びに運送約款を営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

(○)

[道路運送法第12条]

- 13 旅客自動車運送事業者は前年4月1日から3月31日までの期間に係る事業報告書を提出しなければならない。

(×)

[旅客自動車運送事業等報告規則第2条]

- 14 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送を引き受けた場合には、当該運送の申込者

の任意により、運送引受書を交付することができる。

(×)

[旅客自動車運送事業運輸規則第7条の2]

- 1 5 一般貸切旅客自動車運送事業者は、営業所ごとの配置車両が十両を超えた場合のみ、安全統括管理者を選任しなければならない。

(×)

[道路運送法第22条の2]

[旅客自動車運送事業運輸規則第47条の2]

- 問2 次の設問の()に、法及び規則並びに告示等の文に照らし、正しい語句を記載して下さい。

- 1 6 自動車運送事業の用に供する自動車は(3ヶ月)ごとに定期点検整備をしなければならない。

[道路運送車両法第48条]

- 1 7 国土交通大臣は、国土交通省令で定めるところにより、旅客自動車運送に関する秩序の確立に資することを目的とする一般社団法人又は一般財団法人であって、事業を適正かつ確実に行うことができると認められるものを、国土交通大臣が定める区域ごとに、かつ、旅客自動車運送事業の種別ごとに、
(旅客自動車運送適正化事業実施機関)として指定することができる。

[道路運送法第43条の2]

- 1 8 旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の連続運転時間は(4時間)を超えないものとする。

[自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第5条]

- 1 9 一般旅客自動車運送事業の運送約款に定める事項として、法令で規定されている事項を1つ正確に記入せよ。

(運賃及び料金の收受)

(一般旅客自動車運送事業者の責任に関する事項)

[道路運送法第11条]

(事業の種別)

(運賃及び料金の收受又は払戻しに関する事項)

(運送の引受けに関する事項)

(運送責任の始期及び終期)

(免責に関する事項)

(損害賠償に関する事項)

[道路運送法施行規則第12条]

- 2 0 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、省令に掲げる業務的的確な実行

及び（ **運行管理規程** ）の遵守について適切な指導監督をしなければならない。
[旅客自動車運送事業運輸規則第48条の3]

問3 以下の各設問の（ ）内に、正しい語句を〔 〕枠内から選択し、記入して下さい。

2 1 1日についての拘束時間は、（ **B** ）を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は、15時間とすること。
〔A：12時間 B：13時間 C：14時間〕
[自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第5条]

2 2 一般貸切旅客自動車運送事業は、アルコール検知器を用いて運転者の酒気帯びの有無について確認を行うときは、当該確認に係る呼気の検査を行っている状況の写真（当該運転者を識別できるものに限る。）を撮影して電磁的方法により記録媒体に記録し、かつ、その記録を（ **B** ）保存しなければならない。ただし、当該状況を録画する場合はこの限りでない。
〔A 60日間 B：90日間 C：120日間〕
[旅客自動車運送事業運輸規則第24条]

2 3 一般旅客自動車運送事業を営もうとする者は、国土交通大臣の（ **B** ）を受けなければならない。
〔A. 承認 B. 許可 C. 免許〕
[道路運送法第4条]

2 4 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を（ **A** ）しなければならない。
〔A. 常に清潔に保持 B. 可能な限り清潔に C. 運行ごとに清掃〕
[旅客自動車運送事業運輸規則第44条]

2 5 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、運行の安全面ポイントを分かりやすく示すことにより、単純な（ **B** ）比較のみで選ぶのではなく、より安全にも留意した選定を促すこと目的としている。
〔A：サービス B：価格 C：車両〕
[輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン]

2 6 一般旅客自動車運送事業者は、（ **B** ）により、旅客の運送をしなければならない。
〔A：乗り込んだ順序 B：運送の申込みを受けた順序 C：運賃等を支払った順序〕
[道路運送法第14条]

2 7 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を（ **A** ）

結果を生ずるような競争をしてはならない。

[A. 阻害する B. 助長する C. 確保する]

[道路運送法第30条]

- 28 旅客自動車運送事業者は、（ A ）以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。

[A. 二月 B. 六月 C. 一年]

[旅客自動車運送事業運輸規則第36条]

- 29 旅客自動車運送事業者たる法人の代表権を有しない役員の変更にあつては、前年7月1日から6月30日までの期間に係る変更について、毎年（ C ）までに届け出るものとする。

[A. 3月31日 B. 5月31日 C. 7月31日]

[道路運送法施行規則第66条]

- 30 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者は、事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、（ B ）に対し適切な防護措置をとらなければならない。

[A. 旅客 B. 列車 C. バス]

[旅客自動車運送事業運輸規則第50条]